

# 令和5年度 第2回萩市立図書館協議会 議事録

令和6年1月17日(水)

15:00~16:00

会場 須佐総合事務所

出席者

協議会委員 大島昌子委員・杉山芳文委員・的村るみ委員  
(7名) 杉山恵子委員・堀 保子委員・大久保裕元委員  
岡崎祐介委員

教 育 長 池田教育長

事 務 局 萩図書館 武安館長・森岡係長・五嶋主任主事  
須佐図書館 宮内館長・村木主任  
明木図書館 横山館長・河口主任主事  
NPO萩みんなの図書館 江山理事長  
大草副理事長

## 1. 開会のことば(宮内館長)

本日は、須佐の方までお越しいただき感謝する。

協議会の前に田万川中学校図書館、須佐図書館を見学していただき、地域独自の特色を活かした図書館を皆様方にご覧いただけたのではないかと思います。本日は二つ報告がある。本日、見学していただいたことを踏まえ、皆様方にも忌憚のないご意見をお願いします。

## 2. 教育長あいさつ

本日は先ほどの図書館の見学に引き続き萩市図書館協議会にご出席をいただき感謝する。平素から萩市の図書館運営についてご支援ご協力をいただき心から感謝する。

さて、元旦の午後4時10分に発生した能登半島地震において甚大な被害がおこり、昨日も震度5弱の地震が発生している。輪島市は、萩市と平成2年に姉妹都市を提携しており、人口の約半数が避難をされている状況である。お亡くなりなった方々にお悔やみを申し上げますとともに被災された方々に心からお見舞い申し上げます。萩市は平成25年に輪島市と災害時の応援協定を結んでいる。この度は一早く見舞金1,000万円を送金し、また物資として飲料水やトイレ袋等を送った。聞くところによると、通常3日で届いていたものが一週間近くかかった。また、義援金の受付を総合事務所等でも実施している。輪島市のふるさと納税についても、萩市が代理事務を実施しており、今後継続的な支援を実施していくことになっている。

さて、萩市の図書館の運営については、コロナの影響も落ち着いてきて、ほぼ従来通りの運用を実施している。本日見学していただいた2館の他、萩図書館、明木図書館も含めそれぞれが特色ある活動を実施し、「萩市ひとつづくり推進計画」の指針に基づき、計画の達成に向けさらなる読書推進に取り組んでいる。こうした中、萩図書館の行事において、図書館まつりをはじめクリスマスコンサート等新たな企画も実施し、大変盛況だった。また、利用しやすい図書館の環境整

備として、昨年須佐図書館のLED照明化を実施し、現在は萩図書館のLED化を実施しており2月中には完了する予定である。図書館としても読書環境の充実を図るとともに、SDGsに向けた取り組みも実施していくこととしている。子どもの読書活動の充実を図るために学校とも連携をし、出前講座として学校図書館への支援や電子図書館の活用の推進を図っている。一方、視覚障がい者等読書困難者に向けたサービスの充実として、山口県総合支援学校との連携やサピエ図書館、音声パソコンや朗読CD等の活用を図っている。本日の議事については、特に(2)の図書館の運営に関して、須佐図書館を除く3つの図書館についてのご意見を頂戴したいと考えており、忌憚のないご意見をお願いしたい。先ほど須佐図書館長が申したが、須佐図書館の運営については、報告事項の中で別途説明をさせていただく。本日はどうぞよろしくお願いする。

### 3. 会長あいさつ

能登半島の地震に対して、一刻も早い復旧と住まわれている人の笑顔、日常が戻ることを願っている。須佐での図書館協議会は初めてである。いつも遠くから来られる委員の皆さんに感謝申し上げる。今日、図書館を見学し、萩図書館も良いが須佐の図書館も工夫されていて本が借りやすいと感じ、来てよかった。我々協議会の委員として図書館をより魅力ある物にする事が一つの役割だと思っている。先ほど教育長が言われたように、子ども達の読書習慣が図書館を通じてできるように皆様よろしくお願いする。

森岡係長 規定により、会長に議長をお願いする。

### 4. 議事

議長 議事(1)「令和5年度12月末までの事業報告及び今後の計画について」について、事務局から説明をお願いする。

五嶋主任主事 萩図書館の事業報告・事業計画について説明。

村木主任 須佐図書館の事業報告・事業計画について説明。

河口主任主事 明木図書館の事業報告・事業計画について説明。

森岡係長 田万川中学校図書館の事業報告・事業計画については本日の見学時に説明済。

議長 議事(2)「図書館運営に対するご意見について」について、説明をお願いする。

武安館長 須佐図書館については、24時間開館をどう進めて行くかを6年度中に様々な方のご意見をいただき、取りまとめたうえで決定したいと思っているので、本日、須佐図書館宮内館長から説明する報告をお聞きいただき、本日ご覧いただいた須佐図書館の状況を踏まえて、改めて皆様の忌憚のないご意見をお聞きしたい。その他、萩図書館、明木図書館、今日ご覧いただいた須佐図書館、田万川中学校図書館についても、ご提案やご不明な点があればぜひ図書館改善にご意見を頂ければと思う。

議長 ただいまの事務局からの説明について、先ほど見学した事を踏まえてご意見を伺いたい。  
委員 今日2つの図書館を見学させていただき感謝する。楽しかったので2冊本を借りた。今日の事に直接関係していないが、以前、協議会で各地の図書館を見学しようと計画を立て、徳山図書館だけに終わったが、あそこも斬新な新しい試みで良かった。その他は萩市内の図書館以外では行く事が出来なかったが、山口図書館、至誠館大学図書館には

行く機会があった。今高齢化社会に入って萩図書館をどう利用しているかという、新聞コーナーで新しい情報を仕入れてから必要な書物を探し始め、窓の外を見ながら座って本を読んで居心地の良い思いをしている。今日見学して、萩図書館が中心となって田万川中学校図書館や須佐図書館との連携がよく取れていると感じた。萩図書館がしっかりしていてその恩恵を他の地域の図書館も受けていると感じた。マスコットキャラクターも決まり、移動図書館等も含めずっと継続してもらいたい。この私の実感というのは萩図書館や、今日見せていただいた図書館の建物が立派な事も大きな要因だと思うが、運営が要だと思う。萩図書館、今日見た図書館、明木図書館も含めて運営について、図書館関係者の発想と努力によって挑戦していただいていると感じた。内容的に充実して止まっているのではなく、いつも意見を取り交わしながら前向に進んでいこうとする活動があってこそ、建物も活かされるのでそれを進めていただきたい。

委員 田万川中学校図書館や須佐図書館は行った事はあったが、今日説明してもらって新たな発見があり、今日帰りに本を借りて帰ろうと思った。

委員 今日、田万川中学校図書館の方はちょっと本が探しにくいと思ったが、中学校だからそうかなとも思った。須佐図書館は分かりやすくすぐ目について良かった。

委員 初めて田万川中学校図書館、須佐図書館を見学して、こういった機会がなければ来ることはなかったので貴重な体験をさせてもらった。休みの日や夏休みに図書館に中学生や卒業した高校生が勉強に来ている話を聞いて、図書館が地域の大事な場所になっていと改めて痛感した。本を借りることも大事だが、地域の方が集まれる場所として図書館の重要性を感じた。

委員 今年度から委員になった。今日は所要により図書館見学には参加できなかった。税理士をしており、先般、税理士会萩支部として業界に関心を持ってもらえるような本の寄贈を行った。資料によると須佐地域の電子図書の貸し出し件数が突出している。昨今の活字離れで、電子図書に少し時間をかけても良いのではと思った。メディアで考えた時にキーワードになると考える。個人的には電子書籍も利用していて、場合によっては次年度以降、電子図書も寄贈が可能かと思った。委員より周南市立図書館の話があったが、周南市に限らず図書館としての機能の他、市の人が集まる場所、集いやすい場所が図書館だと思う。周南市立図書館のような大手の本屋が入った図書館も参考になる部分もあると思う。駅前の再活用で図書館を中心とした施設にした結果、年間で100万人が集まる場所が出来たという記事を見た。図書館が人の集まる場所として推進されればと思う。

委員 田万川中学校図書館と須佐図書館を回ったが、昔はよく行って夏はクーラーつけないし冬も暖房つけないよと言っていた。今日は、面白そうな本があったので5冊借りた。須佐図書館は週2回利用しているが、カメラの事は知らなかった。移動図書館も見せてもらい勉強になった。

江山理事長 萩図書館もコロナ禍が明けて少しずつ利用者が増えてきた。NPO職員も開館時の立ち上がった当初より一人一人が力をつけてきたので、最近行っている色々な事業について、職員提案を採用して取り組むことが出来るようになった。資料を提供することは第一の目的ではあるが、市民の方に居心地のいい場所を提案して、皆さんが集える場所になり、足を運んでいただけることが利用につながると思うので委員の皆さんからのご提案があれば取り組んでいきたい。

大草理事 日頃萩図書館を利用いただき感謝する。くつろげる図書館、フラットで来やすい図書館にすることを目指している。コロナでかなりの利用者が減ったが、現在の毎日利用

者は590人ぐらいである。1日600人の利用を目標として職員は色々なイベントをやりながら利用者を増やしていこうとしている。皆さんもよろしく願いたい。

議 長 多くの方が図書館に来ていただき、隅々まで循環できるような図書館を作り上げるのも皆様の力なので、これからも協力をお願いする。

## 5. 報告

議 長 報告(1)「萩図書館キャラクターの決定について」について、NPO萩みんなの図書館から報告をお願いする。

江山理事長 萩図書館を今まで以上に皆様に親しみを持っていただく事を目的に、昨年4月23日から2ヶ月間、萩図書館のマスコットキャラクターのデザインを募集した。全国から213点の応募をいただき東京都在住の星采花さんのデザインに決定した。また、9月1日から1か月間、萩市民限定でネーミングを募集したところ46点の応募があり明倫小学校4年生の林大地さんの「ほんほん」に決定した。他の受賞者の皆様及びキャラクターのコンセプトについては、お配りしたバッジに同封しているのでご覧いただきたい。「ほんほん」は今後萩図書館の推進する様々な読書活動の応援団の一員として活動していくことになるので応援していただきたい。

議 長 報告(2)「須佐図書館の運営について」について、須佐図書館宮内館長より報告をお願いする。

宮内館長 須佐図書館は平成10年2月27日に24時間利用できる図書館として開館している。しかし新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、令和2年3月から夜間開館については中止している。こうした中、令和5年5月には新型コロナウイルス感染症も5類に移行し落ち着きを見せ始めた事から、図書館の利便性を更に良くするため館において検討協議を進めてきたところである。このような中、須佐図書館においては近年開館時間よりも早く来館される利用者の方が多くなり、利用者の利便性を向上させる事を目的に昨年10月から11月にかけて職員が駐在する有人開館時間の希望アンケートを図書館利用者及び須佐地域の住民を対象に実施した。しかし、このアンケートについては、アンケートの趣旨の説明不足で皆様方に誤解を招き、本来調査すべく項目への回答はなく、その他意見として24時間開館に特記した記載の回答が多くなり、正確な希望調査が出来ない結果となった。またこのアンケートに起因して12月議会一般質問において、宮内議員、美原議員から須佐図書館の今後の運営について質問をいただいた。アンケートの結果については、お配りした資料のとおりですが、開館時間を現在より30分早める午前9時から午後5時30分までと、現行の午前9時30分から午後6時までの意見に大きな差がない結果となっている。ただ現状の利用者の行動とは全く異なる結果となっている。現状とアンケートの希望時間が異なる結果や、24時間開館継続を願う意見も多かったことから、12月議会一般質問においても答弁したが、改めて萩市立図書館として須佐図書館をどのようにしていくか、萩市ひとつり推進計画の理念の基に、先般実施したアンケート結果を踏まえ、今後改めてアンケートを行う予定としている。アンケート結果及び市民の声を参考にして、更には現在の生活スタイルを考慮して、教育委員会会議、萩市立図書館協議会、須佐地域の事業懇話会等でもご意見を頂きながら令和6年度中にしっかり協議を重ね検討していくこととしている。また、須佐の24時間図書館のシステムについては説明させていただいたが、24時間開館の再開についてはコロナ禍においても検討を進めていた。しかし開館当初は夜間1日平均14.

3人の利用者が、コロナ前の平成30年度においては1日平均1人を切るほど減っており、利用者の減少についても課題の一つとなっている。また、窓の仕組みやエアコンの事も説明したが、防犯管理上のトラブルの問題として、これまでホテル替わりとして宿泊された行為や風紀を乱す行為、本、備品、施設の破壊、飲酒飲食、喫煙などがあり、利用者からは夜間開館の再開にあたり災害時や体調不良が起きた場合の非常時、無人による管理に対する不安の声が多数上がっている。さらに出入管システムの磁気カードの不具合も発生して課題が色々あり、その課題解決に向けた調整を行うことが必須事項となっていることから、現在休館としている。先ほど皆様方に見学していただいた中でいろいろ須佐図書館についての気づきの点があったと思う。委員の皆様にも須佐図書館への忌憚のないご意見をいただき今後の令和6年中に検討していくにあたって参考にさせていただきたい。ご協力をお願いします。

武安館長 補足ですが、今回の件については宮内館長の方から説明した報告のみとさせていただき、皆様には一旦お持ち帰りいただいて、今後須佐図書館をどうすべきかを自宅で考えていただき、次回来年度春ぐらいに第1回目の協議会を予定しているので、その際に皆さんにご意見をいただきたい。

議 長 次回までにしっかり考えていただくようよろしくお願いいたします。

## 6. その他

議 長 事務局からお願いします。

森岡係長 来年度第1回目の協議会の日程については、会長さんにご相談しながら決めていきたい。決まったらお知らせする。

議 長 その他、お知らせなど何かあるか。

宮内館長 須佐図書館のアンケート結果の資料をお配りしたが、本日はご意見をいただくという事ではなく、アンケート結果についてのご質問等何か聞きたい事があれば、お願いします。先に説明すると、一番肝心なのが質問3の「希望の開館時間」だが、現在9時30分開館だが9時前に皆さんが来て前で待っているのに入ってもらっており、市内の図書館と同じ9時開館に合わせるのか、あるいは今まで通りとするのかどちらが良いか2択で希望をとったが、2択を選ばずに有人開館時間ではなく24時間開館がいいとの記載のその他が多かった。

議 長 地域に住まれる須佐の方の意見を取り入れられるといいが、24時間やりだした当初と比べると電子書籍等もかなり進んでいて、その点でもいろんな意見があると思う。

委 員 生活時間帯とか須佐の事情があり、希望する方がおられるのかと資料を読んでいた。今日見学してみて、設備は整っているので24時間開館も本当に希望者がいるなら無理な事ではないと理解は出来た。ただ、私どもは地域で生活していないので分からないが、必要な希望者がどれくらいいるのかが大事だと思った。

宮内館長 当初24時間開館した経緯としては、1次産業が多く農林漁業者、特に漁業者については日中に図書館に来ることが出来ず、当時の町長が、皆が自由に使えるようにと始めた。当初は、珍しさで利用者もいたが、実際の数字を見ると23時以降は全く人がいない。当時の利用者の年齢構成と比べると、今では更に高齢化が進んでおり、若い方の利用が少ない。また電子図書が進んだり、本離れも進んでいる。来館者と話をすると、館内にカメラはあるが死角が多い、冷暖房もなく倒れても助けを呼べない、メイン通りにあるが周囲は空き家が多く大声を出しても聞こえない、女性一人では恐ろしくて行けないと

聞いている。今回のアンケートで、私は使わないが元からあったのだから24時間あった方が良くはないかとの意見や、中には24時間必要とされている方もいると思うが、時代は変化しており、それに適応したスタイルをとった方が良くはないかと思う。また、今カメラが4台あるが完全に皆様の安全を確保するのは難しく、最低限防犯の安全を確保するとなるとカメラが15台必要となり、それなりの設備投資も必要となる。出入管理システムも改良して安全を確保する必要もあり、費用対効果を考えながら24時間開館をどうするか考える必要がある。

委員 その通りだと思う。

議長 それでは全ての議事が終了したので進行を事務局にお返しする。

## 7. 閉会のことば

横山館長 皆様、長時間に渡り第2回目の協議会に参加していただき感謝申し上げます。また図書館見学から参加いただいた皆様におかれては長時間に渡り参加いただいて感謝申し上げます。図書館見学について、私も田万川中学校図書館は初めて伺った。日頃、自分の住まいの図書館には行くが、なかなかその他の図書館には行く機会がない。先ほど図書館からも事業報告があったが、それぞれの館が特色を持った取り組みをしている。また地元の図書館だけでなくそれぞれの図書館の近くにお越しの際は是非お立ち寄りいただきたい。これをもって第2回目の図書館協議会を閉会する。